

西海ブロック水産業情報

No. 106(2019年7月～9月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>公益財団法人 山口県栽培漁業公社と共同で実施したシロアマダイ種苗生産試験により、全長40mm種苗8万尾の生産に成功した(7月)。</p>	<p>【カキ養殖】 ・全体的に食害は平年より少なく、成長は順調に推移も、9月以降へい死がやや増加。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの直放、ガザミ、ヨシエビの直放や中間育成→放流を実施。</p>	<p>・マガキ養殖: 平成31年の生産は、平成30年11月中～下旬に宮城県から購入した種カキを、4月下旬から5月中旬まで牟田干拓で抑制飼育した後、沖合の24基の筏(18経営体)に沖出し、養殖を実施している。 R1.7月中旬～下旬にかけて「大量のシロボヤ」がカキに付着し、それによりカキの活力が低下し、斃死も見られた。その後、8月上旬から9月上旬にかけて断続的に降雨があり「底層は長期の貧酸素状態」となり、カキの活力をさらに低下させた(九州農政局観測データより)。そして、8月下旬の佐賀豪雨により低塩分に弱いシロボヤが大量斃死し、水質が悪化したことで、カキの大量斃死が起きた。</p> <p>・カサゴ: 5月下旬から8月上旬に全長50～60mmを4千尾配布済。 6月中旬から下旬に全長60～70mmを9万尾配布済。</p> <p>・クロアワビ: 平成29年度産:4月中旬に放流用約3千個(30mmサイズ)を配布済。 平成30年度産:殻長13～25mm約6万個飼育中(9月中旬)。</p> <p>・ナマコ: アオナマコ約6万個、アカナマコ約12万個飼育中。 アオナマコは6月上旬から9月上旬に約74.3万個配布済。 アカナマコは6月中旬から8月下旬に約40.2万個配布済。</p> <p>・マサバ: 67～140mmサイズ約16.6万尾を唐津市へ引渡完了。</p>		<p>・例年発生するマダイイリドウイルス病が確認されなかった。 ・7～9月:ブリ、シマアジにおいてレンサ球菌症の発生が数件確認された。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・八代海では、6月下旬～7月上旬に <i>Karenia mikimotoi</i>、<i>Cochlodinium polykrikoides</i>、<i>Mesodinium rubrum</i> による混合赤潮が、8月下旬～9月上旬と9月中旬～下旬に <i>Chattonella antiqua</i> による赤潮が発生した。 ・スジアラ種苗生産:約2.2万尾を生産。 ・イワガキ種苗0.8万個体を有償配布。</p>			<p>特記事項無し。</p>